キャラクター名: アルファルド

プレイヤー名:

シンドローム	バロール ウロボロス	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	骨董品店店員
オプショナル		年齢	90程度（外見15）	性別	女性型
覚醒	素体	衝動	妄想	初期侵食率	43 %
出自	人工生命	経験	旅	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0		3	4
感覚	2	0	0			2
精神	4	1	0			5
社会	1	0	0	2	1	4

HP	54
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	3		調達	6	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
情報収集チーム	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体	P	N		
研究者	P 懐旧	N 悔悟		
入川 幸鷹	P 尽力	N 劣等感		
夢花火	P 好奇心	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 20	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
オリジン：ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	達成値+LV							
アスクレピオスの杖	3	2	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果：	HP+[LVD10+侵蝕率/10]回復							
赤：アドヴァイス	3							
効果：								
混色の氾濫	2							
効果：								
カバーディフェンス	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	カバーリング、1回/メイン							
グラビティガード	3							
効果：								
孤独の魔眼	2							
効果：								
レネゲイドイーター	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値+[LV+1]D10							
雲散霧消	5	4	オート	至近	範囲（選択）	自動	-	
効果：	ダメージ-[LV*5]、1回/ラウンド							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果：	衝動判定ダイス+LV							
グラビティテリトリー	3							
効果：								
傍らの影法師	★	-	メジャー	至近	自身	-	-	
効果：	影のエキストラ作成							
超人的代謝	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	代謝能力上昇							

レネゲイドウイルスが拡散されるよりも前に、とある国で秘密裏に開発され、唯一成功した人型殺戮兵器である。
レネゲイドに感染したことにより生命が宿ったが、本来であればその研究は実るような内容ではなかった。
そして「彼女」が持っていたのは、求められていた圧倒的殺傷能力ではなく、集中力次第では砲撃や空襲なども防ぎきる可能性のある圧倒的防衛能力であった。
その当時としては非常に珍しい能力であったため、防衛兵器というよりかは研究対象として扱われていた。
そういった研究対象としては有り得ないほど大切に扱われており、「彼女」も研究には協力的であった。

その後戦争が始まり、とある国はそれに敗北する。
それにより「彼女」のいた研究所も非人道的な研究を行なっていたとして粛清され、研究員は一人残らず処分される。
そして「彼女」も始末されたのだが、たかだか人間を殺せる程度の火力では「彼女」を殺すことはできなかった。
しかし「彼女」は研究員達を誰一人として護れなかったことを悔やんでいる。

研究が明るみに出ることもなかったので、研究所が破壊された後は何を目的にしている訳でもなく何十年も各地を転々としていた。
近年日本に来てからは骨董品店店主の入川幸鷹の世話になっており、実の子・実の孫のように扱われている。
「彼女」自身も過去を思い出しているのか、彼のために店の手伝いをするなどして、日々を送っている。
彼が死ぬまでは、この街でゆっくり過ごそうか。

ウロボロスでありながらゼノスの協力者でもある特異的な存在。
自分以外のウロボロスを排除すること、そして全てを終えた後に自分も排除される、という約束のもと協力している。
本人がそこまで生に執着しておらず、自身の力を弁え他人の為に振る舞うよう存在であることもあり、都築京香から許されている。

「彼女」の目的は、護りたいと思う者を全力で護ることであり、それを遂げるためにはUGNやFHと協力も敵対もする。
過去UGNと協力した任務でFHに手を貸していた少年に手を伸ばしたことがある。